

# 100

と 白 門 映 目 に 丘

発刊に  
寄せて



中央大学駿河台記念館 1988(昭和63)年10月落成



多摩校舎全景 1977(昭和52)年11月落成



学校法人中央大学  
理事長 阿部 三郎

## 「中央大学学員会秋田県支部創立100周年」に寄せて

中央大学学員会秋田県支部創立100周年並びに記念誌の発刊を、心からお祝い申し上げます。

平素より会員の皆様には、母校中央大学発展のために温かいご支援とご協力を賜り、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

さて秋田県支部は、明治37年に院友会秋田支部として発足され、本年100周年という記念すべき年を迎えられました。

去る6月12日に行われました秋田県支部100周年記念式典・祝賀会には、学員会の神谷咸吉郎副会長とご一緒にお出でいただきました。

祝賀会に先立ち行われました「創立100周年記念講演会」には、講師として本学法科大学院教授の野村修也先生、本学学員で元サッカー全日本代表・現サッカー解説者の金田喜稔氏をお招きし、会場は満席になるほどのご盛会でありました。

引き続き行われました記念式典・祝賀会は支部会員多数ご出席の中で盛会裏に行われ、特に平成年度卒業の若い世代の支部会員が10数名以上参加されており、その柔軟で新鮮な力を支部活動の中で、十分に発揮していると伺っております。まさに秋田県支部は本学の伝統である「家族的情味」を受け継ぐ、全国支部の中で最も活気ある支部のひとつであると存じます。

このように、伝統ある歴史を築きつつ、ますます充実・発展されておりますことは、歴代の支部長・役員・会員の皆様方、また現支部長の小畑悟様をはじめ、皆様方の献身的なご努力の賜と深く敬意を表する次第でございます。

ところで、今日、日本の大学を取り巻く環境はたいへん厳しい少子化・情報化・グローバル化の中にあり、大学の教育と経営は基本的構造の変革を迫られております。そうした中で本学は2010年に創立125周年を迎えるに当たり、2001年10月に「創立125周年記念プロジェクト」を発足させ10年間に亘る募金推進活動を展開しております。この事業計画は、専門職大学院設置をはじめ、高度専門職業人教育の充

実計画とキャンパス整備などが柱となっております。

まず専門職大学院であります、本学初の専門職大学院として一昨年4月に大学院国際会計研究科(アカウンティングスクール)が市ヶ谷キャンパスに開校し、本年4月には同キャンパスに法科大学院(ロースクール)が開校いたしました。

次にキャンパス整備であります、おかげ様にて3つの新棟建設及びモノレール駅前整備が2003年3月までに全て完成いたしました。多摩キャンパスでは2002年7月に竣工いたしました「多摩学生研究棟(通称炎の塔)」と「多摩学生生活関連棟(通称Cスクエア)」の建設及びモノレール駅前が整備され、後樂園キャンパスでは旧三号館を14階建ての「新三号館」とし、本学の都心におけるシンボルタワーとなっております。

このように本学が総力を挙げて取り組む事業計画は、本学関係者各々の中央大学への想いを可能な限り反映させる事業であります。私は、21世紀における中央大学のあるべき姿として、「世界の中でも存在感のある大学」を実現すべく常に次のような提言をいたしております。

1.国内外に開かれた大学として「知」・「学問」を広く社会に還元する。

2.各界各層の市民のために広い教養に支えられた実学など生涯学習の場を提供する。

3.国際化、情報化の中で世界レベルの交流を伴う高度な研究システムとプロジェクトを持つ高等教育機関であること。

学員・学生・教職員がこぞって自信と誇りを持ち、社会からも大きな期待と信頼を得ることが出来る「活力ある大学」を創造すべく、「創立125周年記念事業」に全力で取り組んで行く所存でございます。どうか母校の更なる充実発展のために、今後とも格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴支部の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。



中央大学学生会  
副会長 神谷 咸吉郎

## 秋田県支部100周年記念によせて

先般 貴支部の定期総会並びに100周年記念式典・祝賀会にお招きいただき、その上、懇親会では秋田の銘酒と本場のきりたんぼをはじめ数々の料理を大変ご馳走になり、誠にありがとうございました。

貴支部は地域支部の中でも伝統ある名門支部で、大学・学生会に対して多年にわたる多大の貢献をなされ、大学と同会の発展に寄与されてきました。

ところで、大学はともあれ、学生会は一昨年まで赤字続きで基本財産を取り崩し、早晚破綻せざるを得ない状況でしたが、会員皆様のご理解を得て維持会費制を導入し、本年はなんとか切り抜けられました。更に抜本的に財政の健全化をはかるため、学生会は法人・教学と協議を重ね、代理徴収制の導入等に関するワーキンググループを特に立ち上げ、学生会の維持会費を2万円として、平成17年4月1日の入学生から適用し、学部4年次第1期学費納入時に大学が代理徴収し、当該学生の卒業後に同会費を引渡す成案を得るに至りました。

そこで、学生会は在学生と会員に対するサービスの一層の充実をはかるとともに、大学と学生会との連携を強化するために、次の3項目を確認しました。

1. IT技術を利用した多様な会員・教学連携システムの構築
2. 「中央大学会員カード」の再構築と活性化によるサービスの高度化
3. 教学と学生会の連携プログラムの構築

そこで、学生会は教学との連携・協調によるインターンシップの支援及び生涯教育への取組み(キャリアデザイン

支援)などの具体化をはかり、実施可能なものから速やかに実施するように考えております。

今日、少子化などの要因で2009年には、現在の大学が激減すると言われております。そこで、否応なしに大学も学生会も変革を迫られ、殊に私たち会員にとって利用できる生涯教育の機関としての大学に成長・発展することが期待されます。

なお、本年10月開催のホームカミングデーは阿部理事長の肝入りで、大学の主催のもと、新たに全会員参加方式を採用し、新しい盛り沢山の行事を企画し、実行することになりますので、貴会におかれましてもぜひ同日の物産展に貴支部会員による物産品を展示・販売されるなどご協力を願えれば幸いです。

貴支部の益々のご発展と会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。